

# たる

TAKUSUI  
No. 624

10  
October, 2008

発行 財兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌

今年こそ豊漁を!



ニュース

**JF兵庫漁連第33回通常総会の開催について**

Ourhour

**漁業共済掛金助成緊急対策事業の実施について**

レポート

**“里海”を瀬戸内海の再生のキーワードに!**

# 漁業共済掛金助成 緊急対策事業の実施について

(兵庫県発表)

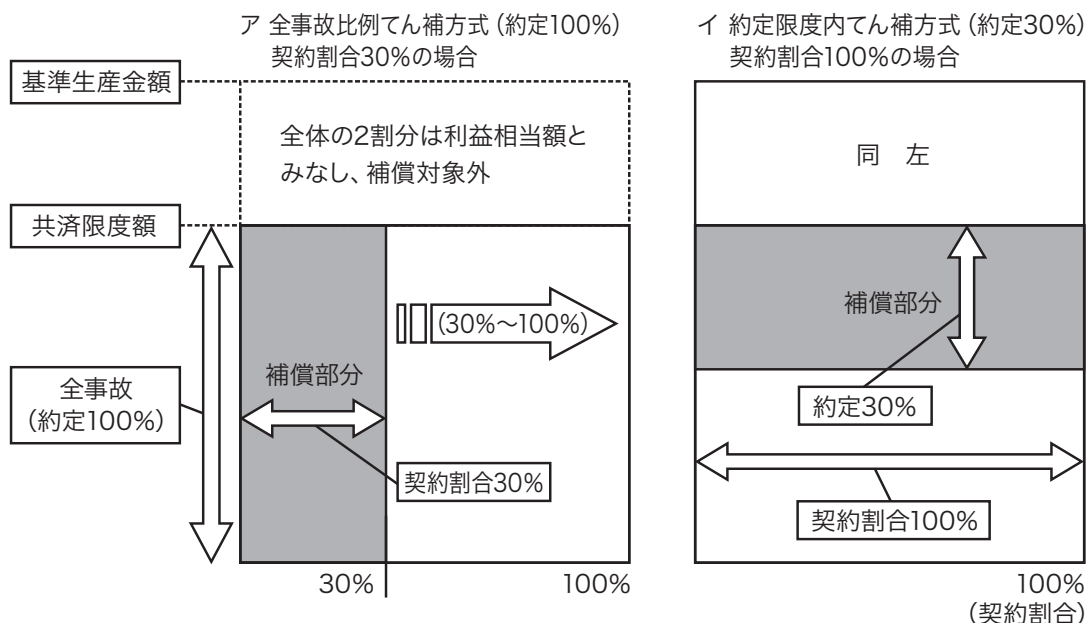
既に新聞紙上や県広報等でご存知の方も多いと思いますが、このたび、兵庫県が本年3月に発生した明石海峡船舶事故や近年のノリ色落ち被害により大幅な減収を生じているノリ養殖業を対象にした標記緊急対策事業を発表しましたので、当紙面をお借りしてその概要をお知らせするとともに、今後のノリ特定養殖共済にかかる一層の補償内容充実のための参考にして下さい。

## 1. 対象共済

ノリ特定養殖共済

## 2. 対象者 (次のいずれの条件も満たす者)

- ①兵庫県内のノリ養殖業者
- ②約定限度内でん補方式(約定30%)で契約割合100%又は、全事故比例てん補方式で契約割合30%以上の共済に加入する者。
- ③長期共済特約を附加する者。



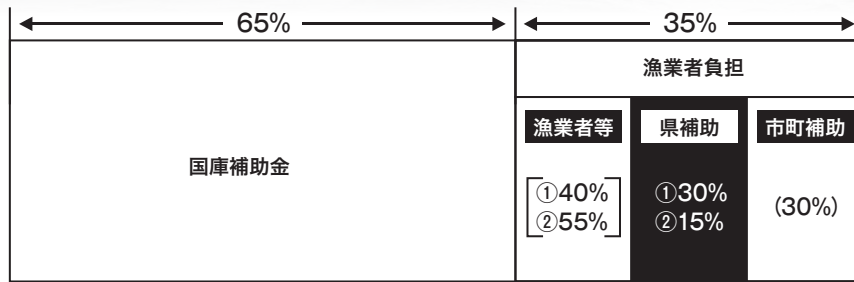
## 3. 対象経費

純共済掛金のうち国庫補助額を除く掛金額 (漁業者負担)

## 4. 補助率

- ①大規模災害等により、前年度生産金額が基準生産金額「5中3平均」から5割以上の減収となった漁業者は漁業者負担の30%
- ②上記以外の漁業者は漁業者負担の15%

【純共済掛金の負担割合】



※市町補助が漁業者負担の30%の場合（市町補助は任意）

注釈：①左記国庫補助金には基盤強化対策事業補助金も含まれています。  
 ②市町補助率は各市町によって異なります。  
 ③「漁業者等」には、これまでも（財）兵庫県水産振興基金から6%相当の掛金補助が行われていますが、今回の県の緊急施策をふまえ、同基金でも上乗せ検討されているようです。

5. 実施期間

平成20年度～22年度

以上の通りですが、これをふまえ「兵庫県漁業共済組合」としては、次の取組方針でもって加入推進していく所存ですので、今後とも倍旧のご理解とご協力をお願い致します。

イ. 取組方針

のり特定養殖共済の取組方針は、のり生産者全員の加入及び補償力の向上を図ることを目標とし、大きな減収にも対応できるてん補方式及び契約割合での加入を推進することとする。

ロ. 推進方法

- (1) 取組期間：平成20年度から平成23年度までの4年間
- (2) てん補方式：約定限度内てん補方式30%又は全事故比例てん補方式
- (3) 契約割合：100%
- (4) 継続申込特約（長期共済）

加入推進にあたっては、長期共済での加入を推進することとするが、てん補方式及び契約割合の変更に伴い当初契約（1期1年目）となるため、継続契約期間中（平成21年度から平成23年度までの3年間）においては、大災害が発生しても対応できるよう引き続き当初契約の契約内容を維持することに努める。

(5) 推進方法等

加入推進は、現地での契約者対象の説明会を随時開催することを重点に行い、必要に応じて漁済連及び系統団体の出席を求めて普及啓蒙に努めることとする。

筆者の一言

ノリ養殖漁業も大変な時代を迎えています。栄養塩は30年前に比べておおよそ3分の1の状態に加え、珪藻PTの異常繁殖。雨が降っても河川から水が流れ出てこないなどなど。要するに人家に被害が出ては困りますが「台風」に頼るしかないのが現状です。相場的にも適正在庫量の倍近い繰越在庫を抱え、札を入れるにも業務用（特におにぎり）価格に引っ張られてしまうなど、非常に厳しい状況のようです。

最終的には、これからは自助努力は勿論ですが、その中でも特に「自衛策」を考えていくべきではないで

しょうか。即ち、共済契約にかかる契約割合や約定割合を少しでも引き上げ、補償力を高めていくことです。幸いにも今回は大きなチャンスです。巷では「漁業者が共済金をもらうようになったらおしまいや」という話をよく耳にします。勿論、そのようなことにならないよう頑張って頂かねばなりません、とにかく、「万一の事故」に対する補償が「毎年の事故」になりつつあることは誠にもって遺憾とするところです。

話は変わりますが、現行漁業共済の上乗せ補償として、新しい漁業経営安定対策事業「積立ぶらす」が本年4月からスタートしていますので、これへの加入も是非ご検討下さい。

## JF兵庫漁連通常総会および兵庫県JF役職員研修会開催のお知らせ

平成20年度より、9月決算となったJF兵庫漁連の第33回通常総会の開催が以下のとおり予定されております。

1. 開催日時：平成20年12月8日（月） 午後1時30分～
2. 開催場所：神戸市兵庫区中之島2丁目2番1号  
兵庫県立水産会館 4階 大会議室

総会終了後、同じ場所で右記の会議が予定されています。

午後2時30分～ 兵庫県JF役職員研修会  
(主催：財団法人 兵庫県水産振興基金)

「海環境再生に向けて」(仮題)  
～森・川・海の連環を海の民から発信する～

(講師) 京都大学フィールド  
科学教育研究センター  
里海生態保全学分野 教授  
農学博士 山下 洋 先生

午後4時30分～ 「漁人の会」 総会・交流会

## REPORT 各団体からの報告

### 「豊かな漁場への再生に向けて」

### ～水産振興議員連盟とJF組合長との懇談会を開催！～

兵庫県議会議員で構成する水産振興議員連盟(会長：永田秀一県議、会員41名)と、県下51JF組合長との懇談会が、9月11日、ホテル北野プラザ六甲荘において開催されました。

水産振興議員連盟・永田秀一会長、JF兵庫漁連・小松司会長の主催者挨拶に続き、来賓の釜谷研造県議会議



長、伍々博一県農政環境部長の挨拶ののち、JF神戸市・山田隆義組合長の座長のもと「豊かな漁場への再生に向けて」をテーマに意見交換会が進められました。

討議に先立ち、LLP西日本水産研究会の中西敬氏により「豊かな海を取り戻すために」と題する基調講演があり、参加者からはEM菌の活用とアサリ漁場の再生、第2



鹿ノ瀬構想など漁場環境の改良への取り組みや、ノリ色落ちに対する施策などについて活発な意見や要望が寄せられました。また、議員側から漁場環境対策の重要性はもちろんのこと、昨今、食の安全性への信頼を裏切る事件が続発しており、こういう時こそ信頼できる県産魚の普及拡大を図るべき、などと意見が出されました。

## “里海”を瀬戸内海の再生のキーワードに！

### ～瀬戸内海研究フォーラムin福岡から～

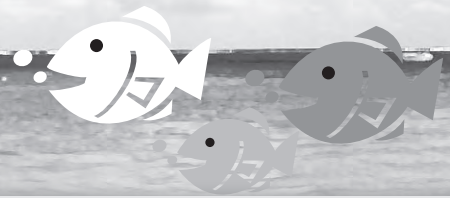
JF兵庫漁連では、平成14年から瀬戸内海関係9府県漁連とともに、瀬戸内海を水産資源等の豊かな海に再生するために、瀬戸内海環境保全知事・市長会議を中核に、

「瀬戸内海環境再生法」(仮称)の制定運動を展開しています。この様な動きの中、去る9月4日(木)～5日(金)、北九州市のウェル戸畑で、「瀬戸内海研究フォーラムin福岡」(主催：瀬戸内海研究会議・北九州市)が約150名の参加のもと開催されました。「里海としての瀬戸内海とそれを支える文化力」をメインテーマにして、活発な討論が行われました。瀬戸内海を環境再生を目的とした新しい法整備が検討されている中で、人手をかけながら海の再生を図る「里海」という言葉は、重要なキーワードになりつつあり、漁業者と地域住民の関わりなどその方向性には充分

注視しておかねばなりません。今後法制化対策を進める上で、より関心を持って意見集約を図る必要があります。なお、来年このフォーラムは、大阪で開催の予定です。



# 魚食普及活動のページ



## 【コープ神戸組合員への料理教室】

JF 神戸市女性部

JF神戸市女性部魚食委員会は、9月9日、コープ神戸鈴蘭台東店で「あなごのクレープ巻き」や「鯛サラダ」など4種類の料理の指導を、コープ神戸組合員の学習会「レインボースクール」構成員に行いました。鯛の頭



鯛の頭をテコの原理で割る

をテコの原理で割る方法や、「たこの花づくり」では塩もみして包丁を入れたたこを湯に通した時の身が広がる様子など、参加した組合員はまるで手品を見るように驚いていました。同じ神戸市に住んでいても新鮮な魚を食べる機会は少ないとのことで、今回は35名という異例の大人数が参加しており、今後の活動に期待したいものです。



鯛の三枚おろし

## 【但馬で料理体験】

農林水産体験ファーム

前号でも紹介した農林水産体験ファームが、今回は、JF但馬の全面的な協力のもと、9月13～15日に竹野海岸を舞台に繰り広げられました。神戸YMCAの募集により集まった40名の小学生が、初日はシュノーケルでの磯観察やアワビ、サザエなどの突き漁を見学し、2日目は地曳網漁や調理体



地曳き網漁の体験

験などに挑戦しました。但馬で水揚げされた魚介類を使っての調理体験では、アジは塩焼きに、ガシラはみそ汁に、サザエは壺焼きに、赤カレイは干物にと盛りだくさんの内容でしたが、地元の人たちが感心するほど、熱心に取り組んでいました。特に割り箸を使ってエラと内臓を取り出す方法は、ほとんどの子供たちは初めて見たようで「わぁ～すごい」と感嘆の声が上がっていました。この子供たちが大人になっても今回の経験を生かし、魚食普及に一役買ってほしいものです。



割り箸で内臓を取る

## 【キャンセル待ちの料理教室】

JF 兵庫漁連 魚食推進室

JF兵庫漁連魚食推進室は、9月20日「兵庫楽農生活センター」で料理講習会を実施しました。今回のテーマは「旬のイカづくり」で、キャンセル待ちがでるほどの人気



山崎室長のデモ

となりました。40名の参加者は、山崎室長の調理デモを食い入るように見学した後、ハリイカとアオリイカの刺身、ハリイカの塩辛、ゲン炒めを調理し、試食しました。この講習会の参加者のように魚食に関心の高い消費者が増えること願うばかりです。



イカの調理に挑戦

## 3県漁業士会開催!! 魚食普及活動に重点を

兵庫県漁業士会

徳島県、和歌山県、兵庫県の漁業士会では、毎年一回持ち回りで三県漁業士会を開催しています。今年は10月7日～8日の2日間、徳島市内において開催され、本県からは魚住会長（JF育波浦）と事務局が参加し、全体で9名の参加となりました。

1日目は各県の漁業士会活動について報告がなされ、徳島県漁業士会では県内の料理教室で、小学生自らが魚を捌いてムニエルなどの料理に挑戦した模様が報告されました。また、2日目は徳島市内のコミュニティーセンター調理実習室において、応募された10人（2人1組）の方々に漁業の紹介をしたあと、アジとタチウオの捌き方と刺身作りに挑戦してもらいました。できた刺身を海鮮丼の具にし、中骨をアラ汁にしておいしく頂きました。応募された方は男性3人を含め、40代～60代の方で、ほとんどが魚をあまり触ったことがないようで、何匹も調理する内に捌き方のコツをつかまれた様子でした。

各県の漁業士会ではこのような地道な活動の積み重ねで、漁業の応援団づくりを進めています。

尚、来年は兵庫県で開催する予定です。



魚料理実習の様

## JAハリマ農産物直売所 「食彩館 伊和の里」オープン

JAハリマは8月5日、道の駅播磨いちのみやに隣接して農産物直売所「食彩館 伊和の里」をオープンしました。

今、食の安全や安心が叫ばれているなか、国内の農産物に注目が集まっています。JAハリマでも地産地消の取り組みを強める一方、遠方から訪れる消費者に安全・安心な生産物を提供する拠点として同直売所を新設しました。JA管内（一宮、波賀、千種地区）の地元で生産された安全で新鮮な野菜、果物、花、山菜、加工品などの農産物を中心に販売していきます。

オープン当日は、生産農家の人たちが早朝収穫したばかりの新鮮な農産物を運び込み、テープカットが行われると同時に、待ちかねた買い物客で店内はあふれかえり、レジを待つ長い列ができていました。また、店舗前ではオープンイベントも開催され、おにぎりやメロンが振る舞われるなど、地元だけでなく遠方から訪れた来場者で店内は終日賑わいを見せていました。

同JAでは、初の大規模直売所として、これからも地域の人々と農業の活性化に取り組むとともに、多くの人に愛される直売所を目指しています。



朝採り新鮮野菜を求めて、多くの買い物客でにぎわう「食彩館 伊和の里」

<http://www.zenchu-ja.org/>

## ピースアクション 2008 ひょうご夏まつりを開催

～8月16日(土)、コープこうべ生活文化センターにおいて  
ピースアクション2008ひょうご夏まつりを開催しました～

今年で3回目の開催となった「ピースアクション2008 ひょうご夏まつり」は県内の地域・医療・共済などのいろいろな分野の生協と一緒に、平和の大切さ、尊さをみんなで考え、確かめ合う場として企画しています。まつり当日は、午後4時からの開催に約1,800人の参加がありました。

中庭のステージでは、神戸市立科学技術高等学校生の方による発表や、ご自身が被爆体験をされながら、被爆者医療を担う医師として活躍されている、此花診療所（大阪）の小林榮一医師から、「被爆体験と被爆者医療に携わって」と題してのお話がありました。その後、銭太鼓の演技やフォークソング演奏、ハンドベルの演奏があり、そ



の澄みきった音色が、館内や来場者の心の中にまで響きわたりました。また、参加生協による模擬店が行われ、会場はにぎやかな雰囲気になっていました。

一方、館内では、昨年も大好評だった医療生協のよる「無料・健康チェック」を実施。血圧・骨密度・体脂肪の測定を行い、今年も多くの方が受診されました。そして、ロビーでは、昭和20年の「神戸大空襲」の戦災写真パネルや「戦時中の生活用品」の展示、各生協によせられたピースメッセージ・千羽鶴の展示を行いました、一つ一つの展示に熱心に見入られる姿もあり、雨上がりの心地よい風が吹き始めた夏の夕方、改めて今日の「平和」について、考えたい半日になりました。



<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

## お魚調理 ワンポイントアドバイス

### 包丁の研ぎ方

料理教室などでよく言われるのは 「こんなに切れる包丁、うちがないから勝手が違う、怖い」。

聞けば、どの家庭も包丁の手入れをしていないことがほとんどの様です。

切れない包丁でも使い次第で、なんとかなるものですが、切れる包丁の方が余計な力が入らず、安全に速く、綺麗に調理が出来ます。魚屋さんなどプロになるほど、切れない包丁を使うと、力加減が狂って怪我をするのです。

包丁の研ぎ方ですが、刃が欠けた場合を除き、粗目の砥石は使いません。出来るだけ中研ぎよりも細かい仕上げ砥石を使います。

包丁には反りがあり、一度に刃の全面を砥石にぴったりと当てられないので、反りに合わせて、切っ先から刃元までを順に、砥石の面に沿わせて当てるように研ぎます。研ぎたい刃部分の上に指を当て押し研ぐ感じです。

包丁の手入れには、金タワシは欠かせません。刃以外を金タワシでこすり磨いておくと、金属表面が滑らかになり、錆にくくなります。特に裏面は研ぎませんので綺麗に保つ為にも金タワシで磨くことをお勧めします。

カレイ類など小さいウロコの魚は、金タワシで擦れば綺麗に取れますし、調理の時は欠かせない存在なのです。



JF 兵庫漁連 魚食推進室

# 旬に想う

写真と文  
遊方子

## なつかしき乱歩

◆推理小説の原点は、古代における民話や旧約聖書に見られるようだ。推理小説という呼び名が一般的になるのは昭和21年以降の事で、それまでは探偵小説と呼ばれており、エドガー・アラン・ポオも「モルグ街の殺人」が最初だと思う。そして英・米で続々と傑作が生まれ、日本の第一人者は何と言っても「江戸川乱歩」だろう。ポオに由来するペンネームも洒落ており、探偵小説の名手として時代の寵児となつて、数々の名作が生み出された。後年は乱歩賞を設定したり、新人の育成に力を注がれたのは良く知られている。この賞から多くの名人上手が誕生し、推理小説界への登竜門ともなったのである。

◆乱歩は、好んで妖美な世界を書き、怪奇でスリルに富んだ物語を展開させた。『一寸法師』に描かれたバラバラ事件は妖気の漂う気色悪さで、読むうちに思わず後ろを振り返って見たくなる程だったが、そうした奇天烈な妖しい雰囲気の小説をたくさん拵えたのである。子供向けに書かれた『怪人二十面相』は、神出鬼没の怪盗を明智小五郎と少年探偵団が追跡するハラハラドキドキの物語で、彼らの動きに併せ胸を踊らせたのだった。作者の紡ぐ幻想の糸に操られ、痛快な謎解きに魅了されたのである。

◆松本清張は、昭和33年『点と線』を発表して爆発的なブームを巻き起こした。東京駅を舞台にしたトリックは斬新で、犯罪動機を主体にした現実味のある事件を創り上げ、見事に探偵小説を推理小説に塗り替えたのである。それまでの現実離れした奇怪な絵空事を、まったく異質のミステリーへと変身させ、発表作品は次々とベストセラーになった。社会悪とは何かを問いつつ、清張以前・清張以後という言葉が生まれて、西村京太郎や赤川次郎など新しいタイプの作家が続々と登場するのである。

◆古典から最新のものまで、数知れぬほど多くの名探偵が生み出された。海外ではホームズ、ポアロ、マーブル、メイスンなど、日本では明智小五郎や金田一耕助、十津川警部、浅見光彦などが知られている。乱歩の耕した土壤に、ミステリーの系譜は大きく広く枝葉を挙げ、今や爛漫と花を咲かせた感じである。《事件÷推理＝解決》この数式が推理小説の鉄則で、未解決な剰余を残してはならない。「割り算の美学」とも言われる小説を、ほど良く空調されて部屋で繙き、古今の名探偵の活躍に陶然と浸る。これは洒落た至福のひとつときとなること請け合いである。



### 表紙の言葉



### 「兵庫のり」の採苗スタート！

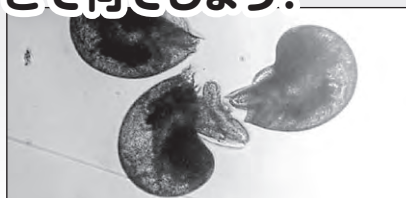
すっかり秋らしくなった9月下旬、各浜でノリの採苗作業がスタートしました。ここ兵庫のり研究所（明石市二見町）でも、9月22日から12基の水車をフル稼働させての種付け作業が行われています。

連日、2～3千枚のノリ網が種付け処理されますが、静かな埋立地の一角は、夜明けとともにいきなり合戦場のような活気あふれる世界に変貌します。今漁期こそ正念場を迎えた、といえる本県のノリ養殖業。ぜひとも高品質で美味しいと定評ある「兵庫のり」の大豊作を願ってやみません。

### お魚バツバツ Q&A

魚貝類の赤ちゃんは、親と似ていない場合も多く、生まれた姿やその成長過程で面白い特徴がある種類も多く存在します。

### 今月も貝類の赤ちゃんクイズです。さて何でしょう？

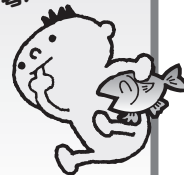


写真提供：  
(財)ひょうご豊かな海づくり協会

### ヒント

- ①先月に引き続き、非常に重要な磯根資源です。
- ②今は丸い殻ですが、親は比較的平らな殻を纏っています。
- ③人口の餌を食べた種苗（しゅびょう）は殻が緑色になります。この貝殻は魔除けになるそうですが、農村部では鶏小屋にイタチやキツネ除けに吊されていました。

みんなも  
考えてみよう！



答えは、裏表紙ページの下部に掲載しています。

### 行事予定

<変更になる場合があります>

JF兵庫漁連		
10月	30日(木)	理事会
11月	5日(水)	監事会
	10日(月)	組合長懇談会
	11日(火)	豊漁祈願祭(赤穂市)

JF兵庫信漁連		
10月	31日(金)	理事会

JFぎょうさい兵庫		
10月	22日(水)	監事会

兵庫県漁業信用基金協会		
10月	20日(月)	監事会
	29日(水)	理事会 監事会

兵庫県内海漁船保険組合		
10月	28日(火)	上半期監事会

# 大輪田塾だより

## 「水産業協同組合法」を学ぶ

9月9日、兵庫県水産会館にて大輪田塾を開催し、兵庫県水産課の小林課長補佐が「水産業協同組合法の概要」と題して90分1単位の講義を2単位行いました。講義は漁業協同組合の沿革に始まり、理念から実務に至るまで詳細な内容で、後半は実際の定款例に基づくクイズ形式の講義もあり、漁協で役員も務める塾生は、自身が直面している現実の問題に照

らし合わせて活発に質疑をおこなっていました。

また、いわゆる「水協法」は我々協同組合に属する者にとってはバイブルとも言える法規度であり、水産業協同組合監査士をめざす系統職員なども聴講に訪れており、会場は活気にあふれていました。



## 第1回運営委員会開催

9月24日(水) 兵庫県水産会館で平成20年度第1回大輪田塾運営委員会が開催され、「2期生の修了認定」「4期生の入塾認定」「修了・入塾式について」などの審議が行われました。

## 平成20年度修了式ならびに入塾式

10月7日(火)、兵庫県水産会館にて平成20年度大輪田塾修了式ならびに入塾式が開催され、小松司塾長をはじめ、運営委員や県会議員、県・系統役職員が出席されました。修了式では2期生の4名に修了証書が手渡され、それぞれ今後の抱負を述べると、3期生の富田崇史さんより「贈る言葉」がありました。入塾式では4期生の代表として喜多隆信さんより「誓いの言葉」が述べられ、3期生の中尾満男さんより「歓迎の言葉」が贈られました。その後、小松司塾長より塾生に訓辞

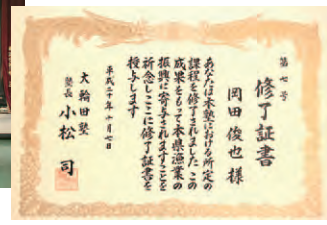
を頂き、藤原道生 兵庫県農林水産局長、松本隆弘 兵庫県会議員よりご祝辞を頂きました。

式典終了後、修了生、塾生らは(株)オフィスなかがわの 中川政雄氏と大輪田塾運営委員でもある 田和正孝 関西学院大学教授の講義を受講しました。

中川先生自身の体験を基にした迫力ある講義と、他ではあまり聞けない田和先生の東南アジアのエビ養殖事情の講義に塾生は真剣に聞き入っていました。

### 修了生の紹介

氏名	所属漁協	漁業種類
岡田 俊也	坊勢	底びき網
平野 清次	由良町中央	潜水
橋本 昌和	南淡	底びき網・刺網・蛸壺
稲葉 貴之	但馬	小型ベニズワイガニカゴ漁



### 第4期生の紹介

氏名	所属漁協	漁業種類
大西 正起	伊保	船曳網・のり養殖
喜多 隆信	的形	底びき網
上西 典幸	坊勢	漁協職員
橋本 泰士	淡路町	底びき網
磯田 和亨	但馬	沖合底びき網



大輪田塾についてはJF兵庫漁連ホームページ

<http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren> より《会員・職員のページ》

パスワードを入力し《大輪田塾》のページへ。